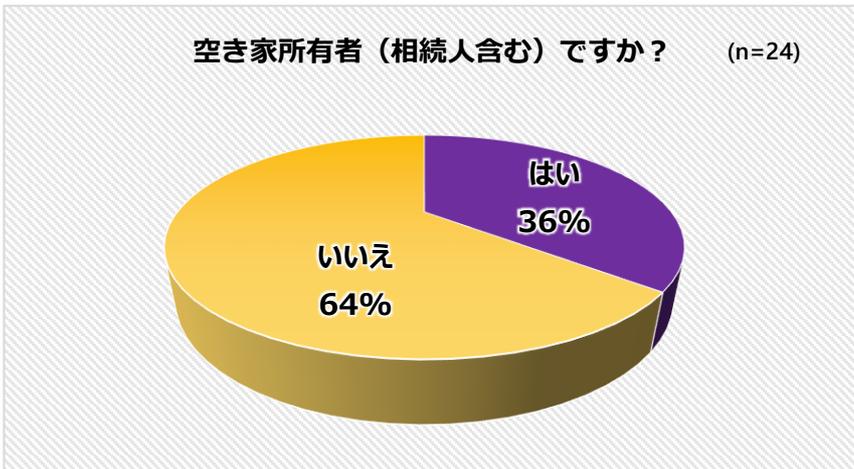
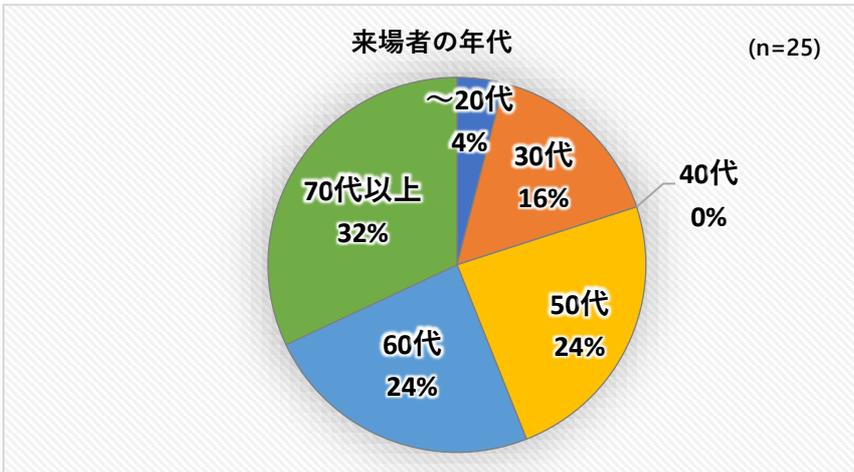


■ 令和4年度 実家の終活セミナー_来場者アンケート<結果>

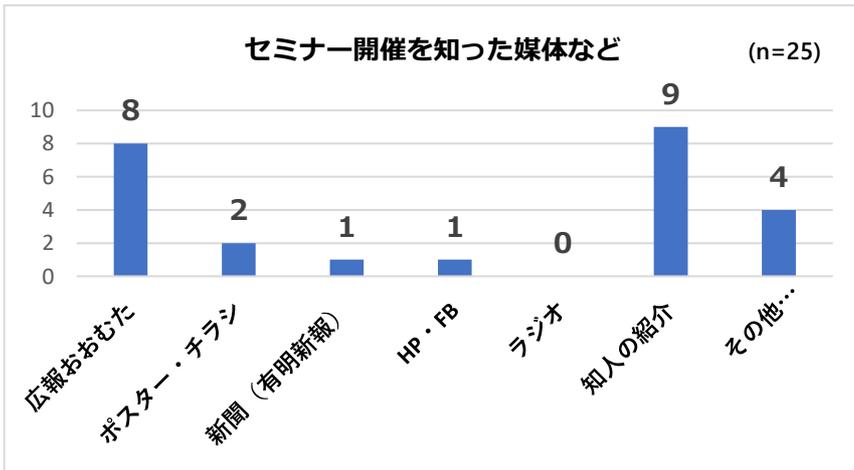
令和4年11月26日(土) 13:00～ えるる

参加者数 46名

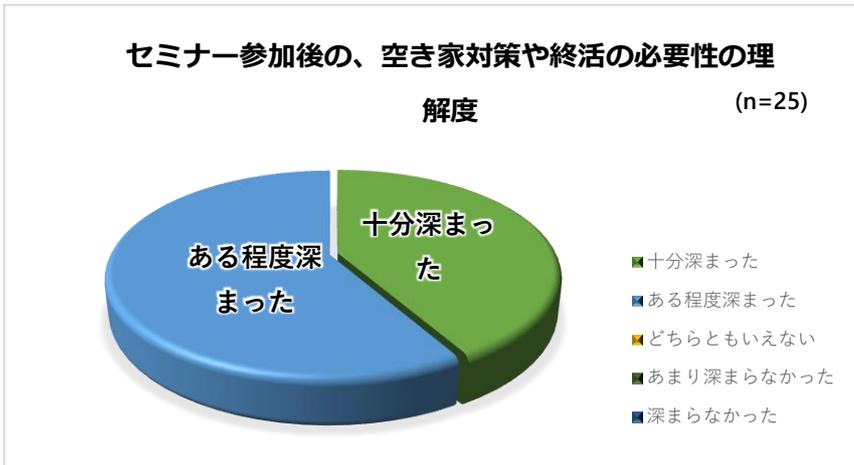
50代以上は8割を超えており、この世代から、実家のことや自宅のことについて考えはじめると思われる。



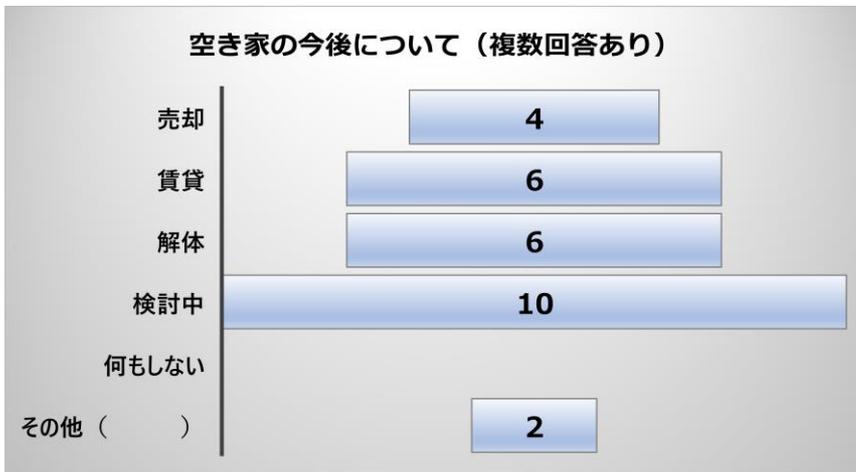
回答者のうち、空き家所有者(相続人含む)の参加は4割弱であった。来場者の年代別内訳では、50代以上の参加者が8割を占めているなか、空き家所有者でない方が6割強であることから、自宅や空き家の終活について、事前に考えようとするニーズがあることがうかがえる。



セミナーの開催を知った理由は、広報おおむたと知人からの紹介が最も多かった。またその他は、協議会から郵送されてきた開催案内をみて参加したとの回答であった。



空き家対策や持家の終活の必要性については、ある程度深まった、十分深まったとの意見のみであり、一定の理解を得たと考えられる。今回のような空き家に関するセミナーは、継続して開催することが有意義であると考えられる。



複数回答であるが、空き家の今後については、検討中が最も多く、次いで賃貸や解体との意見があった。空き家所有者には、どのように対応したほうがいいのか、寄り添いながら伴走することが求められているように感じた。



空き家解決のために必要な支援では、家財整理費用の補助が最も多く、次いで空き家改修費の補助、空き家相談先の明確化の順であった。家財があることによって、適正管理のためのその一歩を踏み出せていないことも考えられる。

問4)–5 その他、ご意見、ご感想、ご質問 など（自由記述）

- ➡「空き家の現状と不動産売買の実態」について、事例○○等について詳しく知りたかった。時間が短すぎるので、長く聞きたかった。
- ➡家財整理費用の補助や空き家改修費の補助があるなら、居住支援しやすいのではないのでしょうか。
- ➡実体験された方の話がとても参考になりました。ありがとうございました。
- ➡空き家のセミナーに参加させていただくのは初めてでしたが、大変わかりやすく勉強になりました。家族と話をしてみても相談も利用させていただきたいと思います。
- ➡現在は空き家ではないが、いずれ親が亡くなれば空き家となるので、今回のセミナーは予習の意味で良かったです。大牟田ライフサポートセンターという相談先があることを知れてよかったです。
- ➡たいへん有意義なセミナーで勉強になりました。いずれ相談に伺うことになるかもしれません。（近い将来）
- ➡解体費用が最大の問題。
- ➡難聴のため説明がよく理解できなかった。
- ➡一般の方にもとてもわかりやすいセミナーだったと思います。
- ➡パネルディスカッション（事例1, 2）について……。質問形式ではなく、本人の言葉での説明が聞きたかった。（これがディスカッションだと思うのですが……）
- ➡神戸市役所で空き家活用を担当しており、勉強のために参加しました。施策検討や広報・啓発において参考にさせていただければと思います。

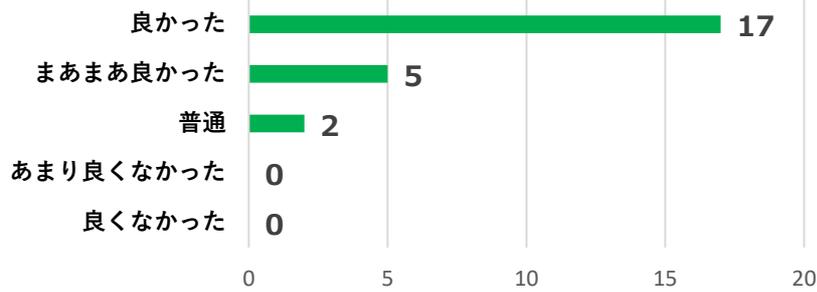
【雑感】

- ・今回のセミナーでは、空き家所有者が実際に経験した事例を本人の口から直接報告してもらったことにより、参加者には現実味のある話として受け止めることができたと思われる。
- ・空き家所有者は、今どうにかしなければ！という切迫感がない現状があり、こうしたセミナーを開催することで、空き家が抱える様々な問題を広く市民や所有者に周知することの必要性を感じた。
- ・人口減少が進展する大牟田において、空き家という資産の適正な価値を周知することも、解決の一歩につながるかもしれないと感じた。

【基調講演】空き家リスクと解決に向けた処方箋／

三浦 研_京都大学院教授

(n=24)

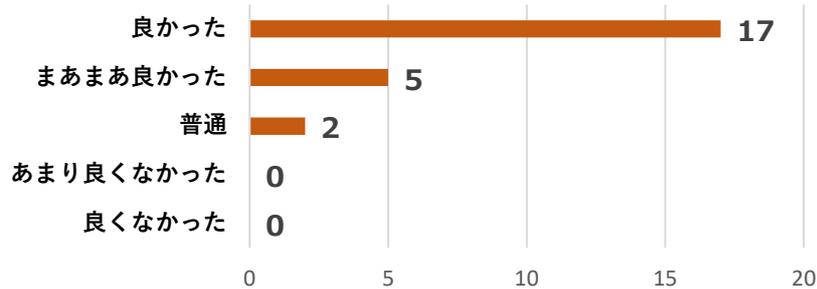


回答者の9割以上が、よかったという評価であった。

【セッション】大牟田市の空き家の現状と不動産売

買の実態／三根&西山

(n=24)

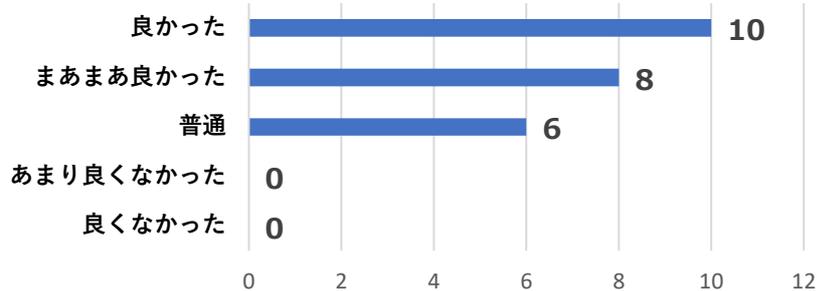


回答者の9割以上が、よかったという評価であった。

【パネルディスカッション】空き家活用と解体の事例

を踏まえて／当事者からの報告

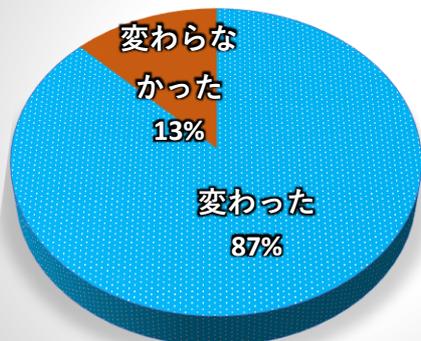
(n=24)



回答者の4割がよかったという評価であり、3割がまあまあよかったという評価であった。

セミナー参加後の空き家対策や終活に関する意識変化

(n=24)



回答者の8割以上が、空き家対策や実家の終活に対する意識が変わったとの意見であった。